



5年ぶりの『Counter Void』再点灯。

そして、未来の生き方や人間のあり方を考える3日間

Relight Days 開催

平成 28 年 3 月 11 日 (金)～13 日 (日)



宮島達男「Counter Void」2003年 / テレビ朝日所蔵作品
作品が完成した平成15年当時の「Counter Void」の様子。

Relight Project は、平成 28 年 3 月 11 日 (金)～13 日 (日) の 3 日間

「Relight Days」を開催します。「Relight Days」とは、

人間の「生と死」をテーマにした宮島達男のパブリックアート作品

『Counter Void』の5年ぶりとなる再点灯を皮切りに、Relight Committee (※)

が企画する参加型プログラム、トークセッションを通じて、未来の生き方や

人間のあり方を考える3日間のイベントです。

※Relight Committee とは、Relight Project に賛同する人々によって形成されたプロジェクトチーム。

詳しくは P.4 「Relight Committee とは」を参照ください。

Relight Project とは



©Relight Project 撮影：丸尾隆一

六本木アートナイト 2015 にて、消灯中の『Counter Void』の上にメッセージを綴った作品を発表。

人間の「生と死」をテーマに作られた東京を代表する

パブリックアート『Counter Void』は、東日本大震災の発生から

2日後の3月13日、震災による犠牲者への鎮魂の意を込め、

作者である宮島達男自身の手によって消灯されました。

時間の経過と共に一人ひとりの3.11に対する思いや記憶が移り変わる中、

特定非営利活動法人インビジブルは、東京都及びアーツカウンシル東京

(公益財団法人東京都歴史文化財団) と共に平成27年4月より

「Relight Project」を立ち上げ、人々の心に問いと気づきを生み出す

シンボルとして『Counter Void』の再点灯に取り組むと同時に、

未来の生き方や人間のあり方を考えるプラットフォームとなることを

目指し様々な活動を行っています。

<http://relight-project.org/>

Relight Days 開催概要

正式名称：Relight Days

会期：平成 28 年 3 月 11 日（金）～ 3 月 13 日（日）

時間：10:00 ～ 24:00（3 月 11 日のみ 17:50 開始）

会場：六本木ヒルズけやき坂『Counter Void』前（東京都港区六本木 6-9）
（但し、トークセッションは別会場）

入場料：無料

主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、
特定非営利活動法人インビジブル

特別協力：MEDIA AMBITION TOKYO

- 3 月 11 日（金） 17:50 ～ 18:00 『Counter Void』点灯式
18:00 ～ 24:00 『Counter Void』点灯時間
- 3 月 12 日（土） 10:00 ～ 24:00 『Counter Void』点灯時間
14:00 ～ 16:00 参加型プログラム「Memento」
18:00 ～ 20:00 参加型プログラム「Reflection」
- 3 月 13 日（日） 10:00 ～ 24:00 『Counter Void』点灯時間
14:00 ～ 16:00 トークセッション Relight Project×MEDIA AMBITION TOKYO
Relight Session Vol.3「アート × 社会－見えないものを想像する－」

『Counter Void』点灯式

『Counter Void』点灯式では、作者である宮島達男より再点灯に関する挨拶を行い、
作品前に集まった方々と共に再点灯の瞬間を迎えます。

●日時：平成 28 年 3 月 11 日（金）17:50 ～ 18:00

●事前予約：不要

参加型プログラム「Memento」「Reflection」

Relight Committee が企画する参加型プログラムでは、昼と夜の部に分かれてそれぞれ複数の
プログラムが開催されます。14:00 からは、記憶する・思い出す・忘れない・思い出の種などを
意味する「Memento」をテーマに、朗読とチェロの演奏や参加型パフォーマンスなどを行い、
18:00 からは、反射・反響・反映・影響などを意味する「Reflection」をテーマに、
参加型のサウンドインスタレーションやワークショップを実施する予定です。

●日時：平成 28 年 3 月 12 日（土）14:00 ～ 16:00、18:00 ～ 20:00 ※雨天中止

●プログラム協力：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団、株式会社ハコスコ、体験空間設計

Relight Committee とは

Relight Committee は、アートと社会について従来の定義や枠組みを超えた対話を重ねながら、具体的な行動につなげる人を育てる学びの場を目指し、平成 27 年 9 月よりスタートした活動です。アーティスト・コミュニティーデザイナーとして活動する菊池宏子によるファシリテーションのもと、20 代から 60 代まで様々な経歴を持つ 17 名が「Relight Days」の参加型プログラムの企画を通じて、アートと社会の接合点を考える学びを重ねています。

トークセッション

Relight Project×MEDIA AMBITION TOKYO

Relight Session Vol.3 「アート × 社会—見えないものを想像する—」

Relight Session はアーティストやクリエイターと民間企業や行政関係者など立場の異なる人が、3.11 以降の社会におけるアートやアートプロジェクトの役割を考察していくトークセッションです。3 回目を迎える今回の Relight Session では、『Counter Void』の作品テーマである「生と死」を取り上げ、再点灯と同時に、改めてこの問いに向き合うことで、そこから未来を考えるトークセッションを開催。詳細は順次ウェブサイトにて公開。

●日時：平成 28 年 3 月 13 日（日）14:00 ～ 16:00（開場 13:30）

●会場：未定

本件に関するお問い合わせ

Relight Project 事務局（特定非営利活動法人インビジブル内）：市川、林

URL：<http://relight-project.org/>

電話：050-3710-8483 MAIL：pr@invisible.tokyo